

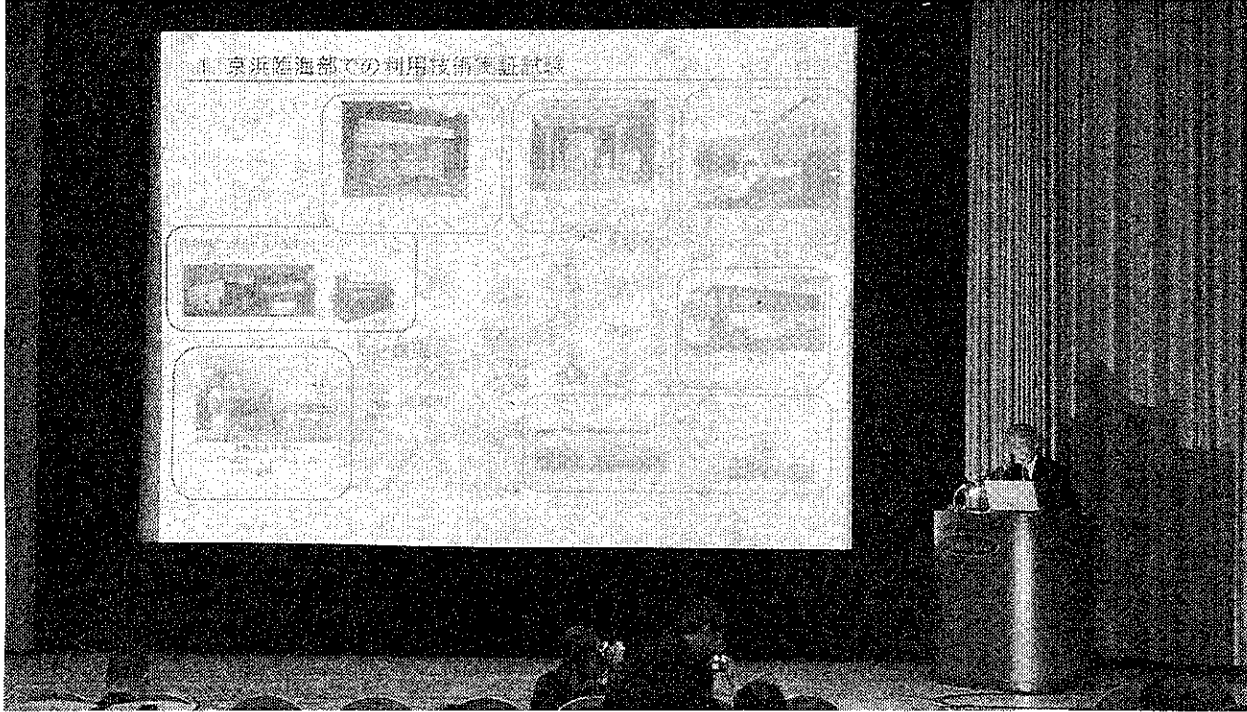
先行する日本のDME規格

東京でジメチルエーテルセミナー開催

DME(ジメチルエーテル)セミナーが3月27日、東京・大手町の経団連ホールで開かれた。燃料DMEは来年6月に新潟でメタノール脱水法による商業生産が始まる。セミナーが、低公害ディーゼル燃料の本格普及の始まりを告げることにちなみであった。

来年6月から商業生産開始

同セミナーは神奈川県、京浜臨海部DME普及推進委員会が協賛した。日本DMEフォーラム、日本DME燃料協会、DME自動車プロジェクトの発端は、01年度の「神奈川県DME自動車燃料の面で国際的に先行することをセミナー検討会」で、これが発展



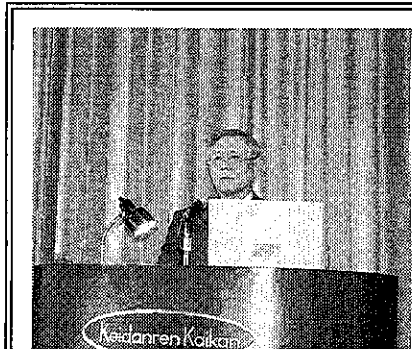
セミナーでは、各プロジェクトで取り組んできた成果が次々報告され、DME燃料の供給の開始とDME自動車の普及への期待が高まった



セミナー会場の近くのサンケイビル・メトロスクエアプラットでDME自動車の展示が行われた。大型車から小型車まで、それぞれのプロジェクトのために開発された4台が一堂に顔をそろえた

低公害ディーゼル燃料 本格普及の始まり告げる

これと並行し国土交通省のプロジェクト「次世代低公害車開発促進事業」(02～04年度)の中心に05年度からDME自動車開発が、自動車にかかわる技術基準、経済産業省関連の



第4回アジアDME会議 11月12～14日、北九州市で

第4回アジアDME会議が今年11月12～14日、福岡県北九州市で開催される。同会議は中国、韓国と日本が持ち回りで開催国となり会場を提供、DME製造設備の開発状況や燃料としての利用状況などについて意見交換している。昨年は韓国で開

日本の商業生産など話題に

日本では日本DMEフォーラム(会長・藤元薫)が主体となって受け入れる。日本における燃料DMEの商業生産が始まろうとしている。また、中国では、上海市を中心にして上海万博を目指し1千台規模のDMEバス導入を行うプロジェクトが進んでいる。アジアDME会議での話題も多かった。

ポスト新長期規制へ 後処理なしで対応

15の議長国として、日本が議論の主導的な役割を担っている。また、国内流通に関しても、さ

燃料DMEの供給面では、「燃料DME製造」が発足し、新潟県新潟市の三菱ガス化学新潟工場がDMEを商業生産するための準備が始まる。25億円を投じて、輸入メタノールを原料にメタノール脱水法による燃料DMEの生産を行うプラント建設する。生産開始は08年6月で、年産8万トンを生産し、ディーゼル燃料補完やLPガス補完としての市場開拓と供給を自

さまざまな実験を行い評価法の確立や燃料としての規格化を進めている。民間企業17社によって05年3月にスタートしたのが、DME自動車普及推進委員会、車両、燃料供給インフラを一括して論議し、現実的なDME自動車の普及を目指す。政府期間の補助なしでエコカーフェアなどへ出展し、DME自動車の低公害性をアピールするとともに、政府系機関の走行試験への協力などを行っている。